

7. 国際交流

7.1 国際交流委員会

委員長：米田 昌代 准教授

委員：加藤准教授、木森准教授、北山准教授、清水講師、金子助教

事務局：宮川主任主事

活動内容：

1. 学生の夏期アメリカ看護研修（学部科目「国際看護演習」）（7.2参照）

本学では、国際的に活躍できる人材の育成をめざし、夏期アメリカ看護研修(国際看護演習、1単位・30時間)が行われている。参加経費は学生の自費によることから、より多くの学生が参加できるように、研修プランの策定にあたっては、平成30年度も業者にプロポーザル方式でプランを提案させ、経費負担の抑制を図った。その結果、参加経費が388,000円(諸経費含む)となり、11名の学生が参加した。また、事前学習として、2015年度から研修内容に応じて日本とアメリカの保健医療制度や実情を自己学習させ、自己紹介の英会話を取り入れてきた。また、今年度はワシントン大学の招聘教授による英会話レッスンも企画し、英会話に対する準備を強化した。

今後の課題として、1. 引き続き、学生が現地で積極的にコミュニケーションがはかれるよう英語力向上のための取り組みを行う。2. 日本学生支援機構(JASSO)の留学生支援資金取得により、研修機会を広げていく。3. 研修終了後、振り返りミーティングを定期的を実施し、ホストファミリーとの交流の継続、海外情勢の国際医療等についての学習状況、今後の海外研修・留学等の進路計画等について確認する機会をもうける等フォローアップ体制の充実をはかる。の3点が挙げられる。

2. 学生のタイ国立チェンマイ大学看護研修（7.3参照）

2016年度に文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」として、『学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築』の一つ、「ヒューマンヘルスケア人材育成プロジェクト」事業の一環として、タイ国立チェンマイ大学看護学部での研修が実施され、それをきっかけとして、今回は本学独自のプログラムとしての開催となった。この研修の目的は、政治や文化、社会経済の異なる国での保健医療システムを知り、地域における住民の暮らしや健康課題への対処方法について学ぶことにより視野を広げ、学生の将来の活動において様々な地域住民への健康づくりにアプローチできる、グローバルな人材を育成することである。このプログラムに参加することにより期待される成果としてアジア諸外国における保健医療システムを学び、わが国の少子高齢化等様々な課題に対して新たな視野で解決策を考える力が育成されることである。このプログラムはチェンマイ大学看護学部の教員と本学教員とで協議の上考案したプログラムであり、参加経費は約170,000円となり、10名の学生が参加した。

事前学習として、タイ国についてや研修内容に応じて、日本における保健・医療・福祉、感染症、訪問看護、高齢者看護、NICU看護、創傷ケア等についてグループで学習し、英語でのプレゼンテーションスライドを作成した。また、アメリカ同様、ワシントン大学の招聘教

授による英会話レッスンにも参加し、英語での自己紹介準備を行った。

今後の課題として、1. アメリカ看護研修同様、英語力向上のための取り組みを行う。2. タイの学生との交流がより一層もて、低学年でも理解しやすい内容でのプログラムの調整をはかる。3. タイ語の研修を入れるとともに、日常におけるタイ語、日本語間の通訳の充実をはかる。の3点が挙げられる。

3. 韓国看護研修、タイ看護研修の単位化

「大学間連携共同教育推進事業」をスタートアップとした韓国・タイ研修を継続開催するために、新カリキュラム導入を契機に、本学既存の「国際看護演習」30時間1単位のアメリカ看護研修と同様に、それぞれの単位を取得できるように以下のように科目立てし、シラバスを作成した。【国際看護演習Ⅰ(アメリカ看護研修)、国際看護演習Ⅱ(韓国看護研修)、国際看護演習Ⅲ(タイ看護研修)】

韓国研修が現行では7泊8日と短期であること、3月の研修であると成績判定、単位認定までのスケジュールが難しいことから、来年度はアメリカ看護研修と同時期の夏での2週間開催で調整中である。

また、韓国・タイ看護研修の単位認定は新カリキュラム対象の学生だけではなく、旧カリキュラムの2～4年生にも適応できるように手続きを行った。グローバルヤングリーダーを取得するためにも、単位化は学生にとって研修に参加するメリットとなると考えられる。

4. JASSO(日本学生支援機構)海外留学支援制度(協定派遣)・短期研修・研究型 申請

グローバル人材育成アクションプラン作成ワーキンググループが作成したアクションプランに基づいて、来年度実施のアメリカ看護研修と韓国看護研修において、申請書を作成した。採択とはならなかったが、アメリカ看護研修においては、最上位2割のA判定であり、例年よりは追加採択の可能性が高まっている。

グローバル人材育成アクションプランを以下に示す。大学情報の公表として、ホームページに掲載している。

【グローバル人材育成アクションプラン】

1. グローバル人材とは、地球規模の視野をもち、草の根の地域の視点で足元の様々な問題を捉え、膠着しているように見える課題を革新的に解決しようとする人材を指します。
2. グローバル人材は、多様な価値観や立場の人たちと対話しながら、社会の課題の解決に対して糸口となるアイデアや新しい価値を共に創り上げていく「共創力」豊かな人材です。
3. 本学では看護基礎教育において、このような学びの機会を提供します。
4. グローバル人材育成アクションプランの目標は以下の通りです。
 - 1) 歴史や文化の違う海外の国に身をおき、文化的能力 (Cultural Competency) と Assertiveなコミュニケーション能力を高め、その国の文化や人々の暮らし、健康課題、保健・医療・福祉制度を理解する。
 - 2) 翻って自文化の世界観に気づき、自己や自国・地域への関心を高めることを促す。
 - 3) 海外におけるさまざまな経験を基に、日本の健康を巡る事象を考え調べようとする動機や、現状を突破しようとする思考を刺激し、以って自国・地域の健康の維持増進や健康課題の解決に向けて、革新的に考える能力を育てる。

4) 1)、2)、3)を通して、多様な価値観や立場の人たちと対話しながら、社会の課題の解決に対して糸口となるアイデアや新しい価値を共に創り上げていく「共創力」の素地を醸成する。

5. 海外の国に身を置く学習プランは以下の通りです。

- 1) アメリカ、韓国、タイに希望する学生を募って派遣します。
- 2) 海外研修出発前の綿密な準備と事後フォローを行い、学びの定着を図ります。
- 3) アメリカ研修は原則毎年実施し、期間は10日から2週間程度です。
- 4) 韓国、タイ研修はおおむね隔年実施とし、1週間から10日程度です。

5. タイ国立チェンマイ大学とのMOU締結に向けて

看護研修を実施しているタイ国立チェンマイ大学とのMOU締結のために、チェンマイ大学を訪問、今後の学生・教員の相互交流の在り方についても話し合い、現在進行中である。

6. 国際交流意識の向上をめざした取り組み

学生および教職員の国際交流意識の向上をめざし、以下について取り組んだ。

1) 教員の英語能力向上に対する取り組み

海外からの留学生増加への対応や、世界で活躍することのできる人材育成が求められる今、大学の教職員が求められるスキルも多様化してきている。英語で履修できる授業やコースの拡大は、国際的に評価される大学になるために不可欠であり、大学教員や職員のスキルアップが求められている。今年度は本学の行事として、人間科学領域国際・情報科学系群加藤穰准教授による大学教員向け英語セミナーを2回企画した。

第1回 日時：2018年9月19日(水) 16時20分～18時 場所：中講義室4

内容 第1部 英語学習の最前線：最新の研究から外国語学習に関する一般的な内容

第2部 英語を用いて研究する：ツールの紹介

第3部 英語入試問題の作成：問題の種類、採点に対する2つの考え方

参加者 41名

第2回 日時：2019年2月27日(水) 14時40分～15時40分 場所：中講義室4

内容 アメリカ研修を実現するための戦略+英語の作問教室

参加者 34名

セミナー後のアンケートでは、様々な英語へのアプローチ方法が知れてよかった、英語論文を読むとき、作成するときに役立つ、英語の作問に活かせる、英語に親しみがもてた、時間をかけて頑張ろうと思った等満足度も高く、今後活かせる内容であった。時間が短い、もっと聞きたい、定期的開催を望む等の声もあり、今後も年2回定期的に開催したいと考えている。

2) ワシントン大学ドーレンボス教授招聘に際して

2018年8月20日～28日にわたり、ワシントン大学のドーレンボス教授が来日され、国際交流委員会としては歓迎会、公開講演会、学部生の英会話レッスンについて担当した。公開講演会は2018年8月25日(土) 13:30～16:00に大講義室で実施され、内容は病む人々

の安楽や安寧をもたらす疼痛マネジメントのエビデンスを確立するために活用された混合研究法 (Mixed Methods Approaches in Nursing Research) の基本的知識と実践例について紹介していただいた。

ドーレンボス教授のご厚意もあり、教職員・学生共々有意義な交流ができた。

3) 国際交流の掲示板の内容の更新

本学の国際交流活動を広く周知するために設けられた学内2か所に国際交流の掲示板の内容を平成30年度版に更新した。更新した内容は、夏期アメリカ看護研修、タイ国立チェンマイ大学看護研修、JICAからの委託研修 (日系:パラグアイ、青年:カンボジア)、ワシントン大学 (アメリカ) のドーレンボス教授招聘である。

なお、ワシントン大学との提携に関する覚書の更新、同大学クリスマン教授への感謝状贈呈、中国の南京中医薬大学 (江蘇省) および吉林大学看護学部 (吉林省) との提携に関する覚書の締結の写真は継続して掲示している。

4) 国際交流の集いの来年度開催に向けた準備

本学学生が留学生等の講演や対話を通して、異文化のなかの多様な価値観を知ること、また、国際的視野を広げるとともに、海外で学ぶことの動機付けの機会とすることを目的に毎年開催されている。前年度、2月開催であり、大雪で延期したこと、参加学生が少ないことから、時期の見直しをはかることとし、今年度は開催を見送り、企画を固める年とした。

海外研修の募集の時期である年度始めの4月開催とし、留学生の選定も研修に係る国の方に依頼し、研修参加の意欲を高めたいと考えており、現在準備中である。

7.2 夏期アメリカ看護研修（学部科目「国際看護演習」）

2018年8月31日～9月13日の2週間にわたり、夏期アメリカ看護研修がワシントン州シアトルで行われ、学生11名（3年10名、2年1名）が参加した。

研修内容

1. 講義

1) テーマ：「U.S. Health Care System and Advanced Practice Nursing」

講師：上月頼子先生（ワシントン大学看護学部准教授）

内容：

- ①アメリカの保健医療システム
- ②アメリカのNSが働いている場（病院・クリニックやそれ以外の場）
- ③看護教育制度（NPの紹介、ライセンスを得るための教育、権限・責務など）

2) テーマ：「現場から見た日米の医療と看護の違いについて」

講師：Yuko Hansen先生（Children's Hospital）

内容：日米の医療システム、医療現場、看護師の働き方の違い

メディカルスタッフの中での役割分担（Dr、SW、PT、OT、ST、NSのそれぞれの役割）
についてご自身の体験を交えた講義

2. 語学研修

日常英会話、看護英語など

3. 保健医療・福祉施設の見学

- 1) University of Washington
- 2) Harborview Medical Center
- 3) Keiro Northwest
- 4) Nikkei Manor
- 5) University of Washington School of Nursing Simulation Center
- 6) Carolyn Downs Family Medical Center
- 7) Seattle Central College

4. 日程

	月日 (曜)	都 市 名	発着	交通機関	時刻	日 程
1	8/31 (金)	小松空港 羽田空港 成田空港	発着 発着 発着	全日空 3118 〃 全日空 178	14:40 15:55 18:05	着後、リムジンバスにて成田空港へ 一路、シアトルへ 《日付変更線》
		シアトル	着	Ling Light Rail ホストファミリー	11:25 午後 夕	入国審査後、Ling Light Rail でワシントン大学へ スーツケースを預け、歩いてキャンパスへ ワシントン大学生によるキャンパスツアー オリエンテーション ホストファミリーと対面。ホームステイ宅へ
2	9/1 (土)	シアトル		市バス	午前 午後	ワシントン大学への行き方を学ぶ ワシントン大学 Ling Light Rail Station 集合 シアトルダウンタウン観光 パイプブレイスマーケットやウォーターフロントなど
3	9/2 (日)	シアトル		市バス	終日	エクスカージョン フェリーで Bain Bridge Island へ ：初期の日系移民の歴史が始まった日本人ゆかりの島
4	9/3 (月)	シアトル		市バス	終日	フリータイム (Labor Day のため休日)
5	9/4 (火)	シアトル		市バス	09:30 13:00	English Lesson (日常英語) ワシントン大学看護学部准教授 上月先生による講義 「アメリカのナース (NS) の役割・教育・保健医療システムについて」
6	9/5 (水)	シアトル		市バス	09:30 午後	English Lesson (日常英語) Harborview Medical Center へ (通訳付き) ※第1級外傷センターとして高い評価を得ている病院の病棟やリハビリセンター、Medic 1などを視察
7	9/6 (木)	シアトル		市バス	09:30 14:15	Keiro Northwest へ 軽介護施設での高齢者との触れ合いと看護ケアについて学ぶ。 Nikkei Manor へ ボランティアスタッフとして入居者と触れ合い、ケアだけでなくアメリカの日系人の歴史について学ぶ
8	9/7 (金)	シアトル		市バス	09:30 午後	English Lesson (日常英語と視察事前学習) 日本人ナースによる看護セミナー：日米の医療の様々な違いについて
9	9/8 (土)	シアトル		市バス	終日	終日フリータイム
10	9/9 (日)	シアトル		市バス	午前 13:10	ワシントン大学 Ling Light Rail Station 集合 メジャーリーグ観戦 (マリナーズ vs ニューヨークヤンキース)
11	9/10 (月)	シアトル		市バス		ワシントン大学 ワシントン大学看護学部 Simulation Center 視察 English Lesson (日常英語) Carolyn Down Family Medical Center 訪問 (通訳付き) ※低所得者へ医療を提供するプライマリーケアクリニックで地域での看護師の役割を学ぶ
12	9/11 (火)	シアトル		市バス	9:30 12:00	Seattle Central College へ 現地学生との交流 *現地学生や留学生との交流会 (Seattle Central College) ワシントン大学へ Presentation / Closing ceremony
13	9/12 (水)	シアトル		ホストファミリー Ling Light Rail 全日空 177	09:30 13:20	ワシントン大学 Ling Light Rail Station 集合 一路シアトル空港へ 帰国の途へ
14	9/13 (木)	成田空港 成田空港 小松空港	着 発着 着	〃 全日空 3119 〃	15:40 18:45 19:55	成田空港から小松空港へ 到着後、解散

7.3 平成30年度タイ国立チェンマイ大学看護研修

2018（平成30）年8月25日～9月9日の16日間にわたり、タイ国立チェンマイ大学看護研修が同大学看護学部で行われ、学生11名（4年1名、3年4名、2年6名）が参加した。

今回で第2回目となるチェンマイ大学看護学部オリジナルの研修プログラムは、平日の午前は毎日講義 → 午後からは午前の講義内容を踏まえた見学演習や視察訪問という形式を踏襲しつつ、2年前よりさらにグレードUPされ、タイ看護教育の歴史から、伝統的補完代替医療、タイの地域包括ケアシステムやヘルスポランティアの育成、性教育プログラムの作成と親への介入研究の報告や、同性愛者へのHIV予防啓発、健康教育機関の視察など、日本の看護教育現場では得ることのできない講義や訪問視察を豊富に盛り込まれた内容であった。

本プログラムは、本学の学生向け海外研修の中で最も日程が長期にわたるものであり、国際交流に重きをおいて参加する学生には負担を感じることも懸念された。しかし、学習者にとっては学んだ記憶が新鮮なうちに実践されている場面に触れられるという優れた構成と内容から、基礎看護学実習レベルの2年生、領域別実習に臨む3,4年生にとっても、興味深く能動的に学ぶ様子が多くみられた。

全日程のうち、3日程（各日、午後からの半日）

- ・8/30(木) Saraphi Hospital
- ・9/ 3(月) HangDong Thai Massage School
- ・9/ 6(木) Mplus Foundation (MSM：男性同性愛者のHIV予防対策施設、NGO法人)

において上記3箇所への見学施設変更があったが、研修内容は目的に適合した予定通りの内容で実施された。

初日より帰国日まで、学生11名においては健康問題や安全上大きなトラブルもなく、引率教員は毎日、大学への報告メールを送信した。

研修内容

1. 目的

政治や文化、社会経済の異なる国での保健医療システムを知り、地域における住民の暮らしや健康課題への対処方法について学ぶことにより視野を広げ、学生の将来の活動において様々な地域住民への健康づくりにアプローチできる、グローバルな視点をもった人材を育成する。

2. 目標

- 1) タイにおける健康課題と対策について理解する。
- 2) チェンマイの町中心部および周辺地域での看護職の活動を理解する。
- 3) タイの保健・医療・福祉システムを理解する。
- 4) チェンマイ大学学生等との交流を通してコミュニケーション能力を高める。
- 5) タイでの研修を通してわが国の健康課題等も理解し、新たな視野で解決策を考える。

3. 講義

- 1) テーマ：Nursing Education in Thailand

講師：Assist.Prof.Dr.Jutarat Mesukko

- 2) テーマ：Prevention of Infectious Diseases

- 講師：Assoc.Prof.Dr.Wanchai Lertwatthanawilat
- 3) テーマ：Home Care Visit
講師：Assist.Prof.Dr.Decha Tamdee
- 4) テーマ：Health Care System and Role of Public Health Nurses in Thailand
講師：Dr.Rangsiya Narin
- 5) テーマ：Elderly Care in Thailand
講師：Assist.Prof.Dr.Totsaporn Khampolsiri
- 6) テーマ：Wisdom and Thai Traditional Medicine
講師：Assist.Prof.Dr.Sumalee Lirtmunlikaporn
- 7) テーマ：Pain Management in Neonate
講師：Assoc.Prof.Dr.Patcharee Woragidpoonpol
- 8) テーマ：Trauma Care
講師：Ms.Phatsawan Sairai, The Head Nurse of ER
- 9) テーマ：Prevention of HIV among Children and Adolescents
講師：Prof.Dr.Warunee Fongkaew and PHD Students
4. 保健医療・福祉施設等の見学
- 1) Chiang Mai University Faculty of Nursing
 - 2) Thai Traditional Complementary Medicine Center (TTCM)
 - 3) Saraphi Health Center
 - 4) Saraphi Hospital
 - 5) Elderly Club, Faculty of Nursing, Chiang Mai University
 - 6) HangDong Thai Massage School
 - 7) Maharaj Nakorn, ChiangMai Hospital (Chiang Mai University Hospital)
 - 8) Trauma Center , ChiangMai University Hospital
 - 9) Mplus Foundation
5. 事前学習と研修最終日プレゼンテーション（学びのまとめ）内容

事前学習（日本の現状）	タイ研修最終日プレゼンテーション（学びのまとめ）	担当
外傷、創傷のケア	タイにおける看護教育	2年生
	外傷のケア	2年生
感染症予防、HIV(エイズ)等の現状と対策（保健制度）	タイにおける感染症予防	2年生
	小児期、青年期におけるHIV(エイズ)予防	2年生
高齢者の特徴、高齢者看護	老人クラブの見学：国立チェンマイ大学内の高齢者サロン	2年生
	タイにおける高齢者看護	2年生
地域における訪問看護	チェンマイにおける地域の訪問看護	3年生
	タイの伝統的医療	3年生
新生児の看護	新生児への疼痛ケア	3年生
	新生児集中治療室の見学：国立チェンマイ大学病院	3年生
医療・保健・福祉制度（保健師の役割）	タイにおけるヘルスケアシステムと保健師の役割	4年生

6. 研修旅程

月日(曜日)	時刻	日 程	宿泊地
8月25日(土)	18:45 20:00	小松空港発 NH758 羽田空港着	機内
8月26日(日)	0:20 4:50 7:55 9:15	羽田空港発 TG661 (※ 所要時間6時間30分) バンコク着 (日本時間6:50、時差-2時間) バンコク発 TG102 (以降 現地時間) チェンマイ着、チェンマイ大学看護学部からバス送迎→ホテルへ	チェンマイ・ オーキッド ホテル
8月27日(月)	9:00- 10:30- 12:00- 13:30-	挨拶、プログラムのオリエンテーション 【講義1】タイにおける看護教育 看護学部主催の昼食会 国立チェンマイ大学 看護学部 →メインキャンパスの見学	(同上)
8月28日(火)	9:00- 13:30-	【講義2】タイランドにおける感染症予防 【見学】タイの伝統的な補完医療に関する施設訪問 Thai Traditional Complementary Medicine Center (TCM)	(同上)
8月29日(水)	9:00- 13:30-	【講義3】チェンマイにおける地域の訪問看護 【見学】地域での訪問看護の実際 Home Visit in the Community	(同上)
8月30日(木)	9:00- 13:30-	【講義4】タイランドにおけるヘルスケアシステムと保健師の役割について 【見学】地域の病院を見学訪問 Saraphi Hospital	(同上)
8月31日(金)	9:00- 13:30-	【見学】老人クラブの見学：国立チェンマイ大学内の高齢者サロン Elderly Club, Faculty of Nursing, Chiang Mai University 【講義5】タイにおける高齢者看護	(同上)
9月1日(土)	終日	チェンマイの町と周辺視察① (チェンマイ大学の学生による案内) Chiang Mai Zoo, Doi Suthep temple, Zira Spa (Thai massage)	(同上)
9月2日(日)	終日	チェンマイの町と周辺視察② (チェンマイ大学の学生による案内) Mae Sa Elephant Camp, Tiger Kingdom, Sunday Walking Street で買い物	(同上)
9月3日(月)	9:00- 13:30-	【講義6】タイランドの伝統的医療とその知恵 【見学】伝統的タイマッサージ研修センター HangDong Thai Massage School	(同上)
9月4日(火)	9:00- 13:30-	【講義7】新生児への疼痛ケア 【見学】新生児集中治療室 Maharaj Nakorn, ChiangMai Hospital (Chiang Mai University Hospital)	(同上)
9月5日(水)	9:00- 13:30-	【講義8】外傷のケア 【見学】大学病院 外傷センターを見学訪問 Trauma Center, ChiangMai University Hospital	(同上)
9月6日(木)	9:00- 13:30-	【講義9】小児期、青年期におけるHIV(エイズ)予防 【見学訪問】MSM：男性同性愛者のHIV予防対策施設 (NGO法人) Mplus Foundation	(同上)
9月7日(金)	9:00- 11:00- 12:00-	学生によるプレゼンテーション、プログラムのまとめ 修了証書授与、写真撮影 昼食→自由時間	(同上)
9月8日(土)	19:20 20:30 22:45	自由時間→国立チェンマイ大学のバスで空港へ チェンマイ発 TG117 バンコク着 バンコク発 TG682 (※ 所要時間6時間10分)	機内
9月9日(日)	6:55 9:30 10:30	羽田空港着 羽田空港発 JL185 小松空港着	

以上